

ニッポン ドクター和の 臨終図巻



最近、「男性美容」なる言葉をチラホラ目にするようになりました。知人の美容外科医は、これからは男性をターゲットにすると息巻いています。20〜30代の男性が美肌や脱毛、整形に興味を持つなんて僕が若い頃には考えられなかった話。男のくせにけしからん！なんてまったく思わない。心から羨ましいです。

しかし美容だけで勝負できる時間は思いのほか短いことも、この年になるとわかります。齢50を過ぎた頃から顔は人生の履歴書になっていく。いい仕事、いい人生を歩んでいる人ほど美しく輝いて見えるものです。

この人も、年を重ねるたびに知性と包容力がお顔に滲み出て、どんどんカッコいい人になっていった印象があります。

1960年にソニーに入社。95年に、大賀典雄氏の跡を受け異例

260 ソニー 出井伸之



自分の人生を「経営」するのは自分

長尾和宏 (ながお・かずひろ) 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

の14人抜きで社長に就任。2000年から05年までは会長兼CEOとして多角経営に手腕を振るい、経済界に多大な影響を与えた出井伸之さんが6月2日に都内の病院で亡くなりました。享年84。死因は、肝不全との発表です。

肝不全とは、肝炎や肝硬変、肝臓がんや胆道の疾患などによって、肝臓の機能が著しく低下し、維持できなくなった病態のことをいいます。

それまで肝臓の病歴がないのに、もかわらず、急激に肝機能が低下する「急性肝不全(劇症肝炎)」と、B型・C型肝炎や肝硬変、肝臓がんが進行するなどして持続的(6カ月以上)に肝機能状態が低下している「慢性肝不全」に大別されます。

肝不全はお酒好きがなる病気というイメージを持たれる人もいますが、アルコールと関係なく罹患する人も少なからずいます。胃・腸・膵臓のがんが肝臓に転移・増大し肝不全に至る人もいます。糖尿病患者の実に1割が、肝臓の疾患で亡くなっているそうです。

進行すると震えや意識レベルの低下、腹水、黄疸などの症状が現れます。食道静脈瘤や胃潰瘍から出血することもあります。出井さんがどのような闘病をされていたのか明らかにされていませんが、今年3月には『人生の経営』(小学館新書)という本を出版されるなど最近まで活躍されていました。この本の冒頭の言葉を紹介します。

「人生は会社のためだけにあるわけではありません。自分はどうありたいか、どういった人生を歩みたいかを決めるのは自分自身です。つまり、自分の人生を「経営」するのは自分なのです。いい言葉ですね。どうせならば我が人生も出井精神で「多角経営」といきたいものです。」